

### はじめに

#### 1) 使用方法

このモデルは鼻出血の対処として必要とされるパッキングや、焼灼によるスキルを患者さんのいない環境で練習できます。特に救急部や耳鼻咽喉科でのトレーニングに推薦します。

鼻出血トレーナーは、患者さんに接するのと同様にお取り扱いください。

訓練生は出血箇所を特定し、吸引して出血を除去し、鼻腔パッキンまたは焼灼術で対処します。

#### 2) 技術的解説

ケンブリッジの Addenbrooke 病院の耳鼻咽喉科と協力してアダムローリー社によって開発されたこのシミュレーターは、重度の鼻出血に対処するための正確な手順のトレーニングに適しています。

#### 3) 構造と機能

このモデルは、硬質プラスチックの頭部と柔軟な鼻領域から構成されています。鼻の内部には、患者の重度の鼻出血を再現するため、典型的な中隔上の 4 つの部位に疑似血液を送達するため毛細管があります。

#### 4) 必要な物品を用意する（構成に含まないもの）

- 光源と拡大 – 耳鼻咽喉科向け手術用双眼顕微鏡
- 軟性内視鏡または 2.7mm 硬性鼻腔鏡
- 鼻鏡
- Tilley 鑷子
- 1 インチ BIPP リボンガーゼ
- Zoellner 耳用吸引チューブ

### パッキングでのセットアップと説明

- 2.5cm のリボンガーゼ包帯を、水に浸します。（注：BIPP ではありません。）
- 浸した包帯を鼻腔に詰めます。余分な水分は頭部後方のチューブから排出されます。

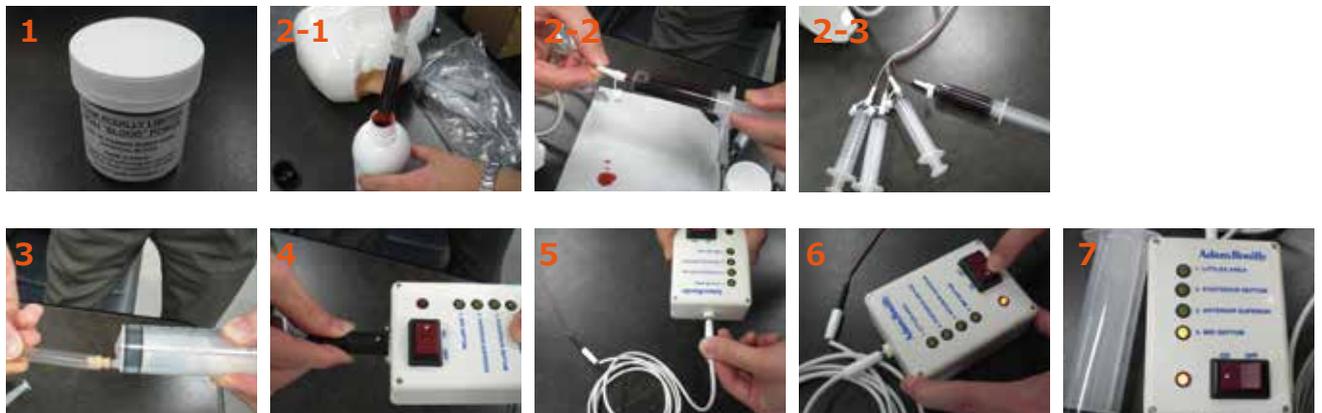


#### パッキングスキルの確認方法

- 1) プラグインユニットを頭部後方から取りはずします。
- 2) ユニットのふたつに分割します。
- 3) 正しいパッキングは透明のウィンドウから確認できます。
- 4) 使用後は、内側から透明のカバーを外し、包帯を捨ててから清掃します。

## 焼灼術でのセットアップと説明

- 1) 模擬血液を 10 倍希釈で用意します。(粉末 1 に対し、蒸留水 10)
- 2) シリンジ (10 ml) 4 本をそれぞれ疑似血液で満たし、1 ~ 4 番の供給チューブに接続します。
- 3) 空のシリンジ (50 ml) を回収用チューブに取り付けます。
- 4) 頭部とコントロールボックスをコネクターで接続します。
- 5) 模擬焼灼機のプラグを、コントロールボックスに挿しこみます。  
**焼灼の準備は、これで完了です。**
- 6) コントロールボックスのスイッチを ON にします。  
供給チューブの 1 本から中隔の指定された領域に疑似血液が注入され、出血を再現します。
- 7) 焼灼により、コントロールボックスの焼灼部位を示すライトが点灯します。



### 焼灼術スキルの確認方法

- スキルの正確さは、コントロールボックスの 4 つのインジゲータライトで確認できます。
- ランプは指定の出血部位に、模擬熱線焼灼機の先端部を当てた時に点灯します。

### メンテナンス (清掃)

- ご使用後、頭部は石鹼水を使用し洗浄し、十分に乾燥させ収納してください。
- 高温多湿や直射日光の当たる場所での保管は、避けてください。

### 商品構成

- 頭部モデル
- シリンジ (10 ml) × 4
- シリンジ (50 ml) × 1
- コントロールボックス
- 210204 疑似血液濃縮粉末